



東京外国語大学  
Tokyo University of Foreign Studies

Can-doが拓く新たな日本語教育

JLPTUFS

# アカデミック日本語 Can-doリスト

# 「JLPTUFS アカデミック日本語 Can-doリスト」について

(略称：AJ Can-doリスト)

## >> 1

### JLPTUFSとは？

Japanese Language Program of Tokyo University of Foreign Studies  
東京外国語大学留学生日本語教育センター全学日本語プログラムのことです。  
全学日本語プログラムでは、大学での勉学・研究に必要な日本語力の養成を目指し、交換留学生、研究留学生、日本語・日本文化研修留学生、研究生などを対象に日本語教育を行っています。

日本語のレベルは8段階に設定され、読解、聴解、文章表現、口頭表現、文法、漢字の技能別クラスと、それらを総合的に学べる「総合日本語」が開講されています。

[http://www.tufs.ac.jp/student/international\\_student/Japanese\\_Program.html](http://www.tufs.ac.jp/student/international_student/Japanese_Program.html)

## >> 2

### アカデミック日本語とは？

大学での勉学に必要な日本語のことです。新聞記事や専門書を読む、講義を聞く、ディスカッションや口頭発表を行う、レポートや論文を書く、といった活動に必要な日本語力に加え、大学教育で求められる、問題発見・分析・解決の能力を養成することを目指しています。

## ● AJ Can-doリストの構成

本パンフレットの中間には、リストの抜粋版を記載しています。  
リスト全体は、本センターホームページで閲覧可能です。

で検索してください。

|     | Can-do目標               | 課題・タスク                                    | テーマ・トピック例 | Can-do目標細目  |     |     |      |      |
|-----|------------------------|---|-----------|---|-----|-----|------|------|
|     |                        |   |           | 言語  |     |     | 理解   |      |
|     |                        |   |           | 談話構成  | 文構成 | 結束性 | 情報整理 | 理解再生 |
| 初級1 | それぞれのレベルの到達目標を記述しています。 | そのレベルでよく取り上げられる課題・タスク、テーマやトピックなどを記述しています。 |           | Can-do目標細目はCan-do目標を達成するための下位目標です。<br>細目の項目は、技能によって異なります。<br>Web1には、さらに詳しい説明と到達目標の目安となる成果物や教材のサンプルを公開します。<br><input type="text" value="AJ Can-doリスト"/> で検索してください。 |     |     |      |      |
| 初級2 |                        |   |           |   |     |     |      |      |
| 中級1 |                        |   |           |   |     |     |      |      |
| 中級2 |                        |   |           |   |     |     |      |      |
| 中上級 |                        |   |           |   |     |     |      |      |
| 上級1 |                        |   |           |   |     |     |      |      |
| 上級2 |                        |   |           |   |     |     |      |      |
| 超級  |                        |   |           |   |     |     |      |      |

現在、サンプルの公開は行っていません

全レベル共通目標

どのレベルでも共通に目標としていることです。

## >> 3

### AJ Can-doリストの特徴は？

- 全学日本語プログラムという教育実践の場から生まれた評価指標
- アカデミック日本語に特化した評価指標
- 4技能(読解・聴解・文章表現・口頭表現)×8レベルの評価指標を記述
- 記述文についての妥当性を検証

(学習者による自己評価及び国内外の教師による並べ替え調査)

→ 到達目標の目安となるサンプルをWebにて公開(登録制) ←

## >> 4

### AJ Can-doリストの効果は？

各レベル・各技能の到達目標が可視化される

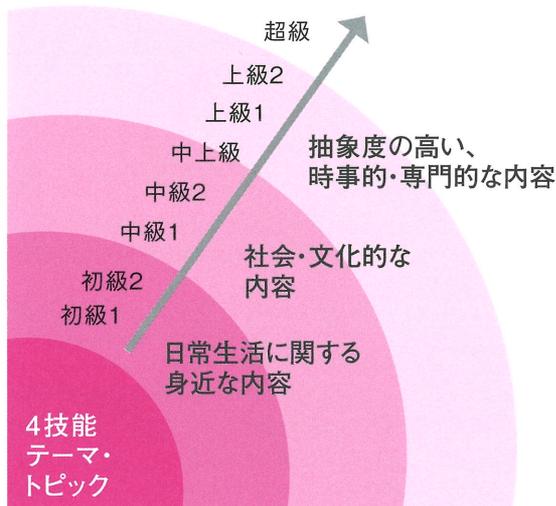
↓ それにより

- 教育内容や目的が教師にも学習者にも明確に伝わる
- 交換留学など異なる教育機関との教育の接続(アーティキュレーション)が円滑になる

↓ 最終的には

教育の質の保証につながる

## ● AJ Can-doリスト テーマ・トピックの広がり



### 【AJ Can-doリスト 関連論文】

- 藤森弘子、鈴木美加(2017)  
「国内外の日本語学習者によるCan-do自己評価の比較分析」  
『科学研究費助成事業基盤研究(B) 課題番号26284070(研究代表者 藤森弘子) アカデミック日本能力到達基準の策定とその妥当性の検証—研究報告書(2017)』
- 藤森弘子(2016)  
「国内外の日本語教員による「Can-do評価」の比較分析」  
『第11回国際日本語教育・日本研究シンポジウム予稿集』  
香港日本語教育研究会
- 工藤嘉名子・大津友美(2016)  
「アカデミックな日本語力養成を目指した Can-doリストの開発」  
『日本語教育方法研究誌』 Vol.23 no.1 p.50-51
- 鈴木美加(2015)  
「違いのわかるCan-do リストの作成に向けて  
— 学習者Can-do 自己評価のデータに基づくリストの検討 —」  
『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』 no.41 p.121-136
- 伊集院郁子(2014)  
「アカデミック・ライティング能力の獲得を目指したCan-doリストの策定  
— 初級から超上級レベルまでの学習の接続 —」  
『シドニー日本語教育国際研究大会 Conference Program』 p.67
- 鈴木美加・藤森弘子(2014)  
「Can-doリスト開発プロセスにおける学習者の自己評価とその分析」  
『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』 no.40 p.53-68
- 鈴木美加・藤森弘子・藤村知子・鈴木智美・中村彰・坂本恵・花蘭悟・伊集院郁子(2013)  
「大学教育における日本語コースのCan-do設定  
— 日本語の技能を言語知識や態度と結びつけた記述の試み —」  
『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』 no.39 p.65-82
- 鈴木美加・藤森弘子・藤村知子・鈴木智美・中村彰・坂本恵・花蘭悟・伊集院郁子(2012)  
「日本語学習における目標記述をめぐって  
— 全学日本語プログラムのCan-doリスト作成に向けて —」  
『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』 no.38 p.155-166

# 読解 抜粋版

(リスト全体は AJ Can-doリスト で検索してください)

|     | Can-do目標   | テーマ・トピック例  | Can-do目標細目例<br>言語(談話構成)   |
|-----|--|--|---|
| 初級1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 易しい語で書かれた、日常生活のごく身近なトピックや日本の文化についての短い文章を読んで理解できる。</li> </ul>  | 自己紹介／私の好きな町／かなと漢字                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近なトピックの短い文章を読み、流れに沿って内容が理解できる。</li> </ul>   |
| 初級2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 易しい語で書かれた、経験や予定などの身近なトピックや日本の文化についての文章を読んで理解できる。</li> <li>● 易しい語で書かれた、行事の説明や指示などを読んで理解できる。</li> </ul>     | 生まれ変わったら／私の家族／贈り物文化／地震                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 比較的単純な構成の文章を読んで、意味的なまとまりに区切ることができ、要点がわかる。</li> <li>● 文章のタイプに特徴的な文章構成について少しわかり、意識しながら読める。(文章の「初め、中、終わり」)</li> </ul>                                   |
| 中級1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 語のコントロールをして書かれた、身近な社会や文化についての文章を読んで理解できる。</li> <li>● 語のコントロールをして書かれた短い物語や説明文を読んで、理解できる。</li> </ul>        | 日本の国土／日本人の食生活／住まいの工夫                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成が明快な文章を読んで、意味的なまとまりに区切ることができ、まとまりごとの内容と文章の要点がわかる。</li> <li>● 文章のタイプに特徴的な文章構成や流れがわかり、それを活用して読める。(文章の「初め、中、終わり」)</li> </ul>                          |
| 中級2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 語のコントロールをして書かれた、具体性のある社会や文化のトピックの文章を読んで理解できる。</li> <li>● 語のコントロールをして書かれた物語や説明文を読んで、理解できる。</li> </ul>      | 留学することの意義／「就活」を考える／1杯のコーヒーから世界を考える／にじり口                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成が概ね明快な文章を読んで、意味的なまとまりに区切ることができ、まとまりごとの内容と文章の要点がわかる。</li> <li>● 文章のタイプに特徴的な文章構成がわかり、意識しながら読める。(各々の文章の「初め、中、終わり」やメール等での書式)</li> </ul>                |
| 中上級 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般向けの、具体性のある社会や文化に関する文章を読んで、文章構成が把握でき、内容が理解できる。</li> <li>● 身近なことを題材にした短編小説や記事などを読んで、理解できる。</li> </ul>     | 人口問題-人口ピラミッドからわかること／誤差-日常生活を覆う「正確さ中毒」／『愛用の時計』(星新一)     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成が少し複雑な文章を読んで、全体の内容構成がほぼわかる。主張や要点及びそれを支持／説明する箇所とその内容が示せる。</li> <li>● 文章のタイプに特徴的な文章構成や流れがわかり、母語と異なる場合でも、それらを活用してほぼ的確に読める。</li> </ul>                 |
| 上級1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般向けの、やや抽象度の高い社会や文化に関する文章を読んで、論理構造がわかり、論旨が把握できる。</li> <li>● 短編小説や興味のある記事、やや専門的な文章を読んで、理解できる。</li> </ul>   | 翻訳文化と日本語／アニメ映画に吹く風-宮崎駿の仕事／メディアの中の暴力効果-カタルシス効果、それとも学習効果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成がやや複雑な文章を読んで、全体の内容構成、論理の流れがわかる。主張や要点及びそれを支持／説明する箇所とその内容が示せる。</li> <li>● 文章のタイプに特徴的な文章構成や流れがわかり、母語と異なる場合でも、それらを活用して的確に読める。</li> </ul>               |
| 上級2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般向けの、抽象度の高い文章を読んで、論旨や主張が把握できる。</li> <li>● 小説や記事、専門性の高い文章を読んで、批判的に解釈できる。</li> </ul>                       | 高度経済成長とサラリーマン文化／教育の機会均等／『ピアノ』(芥川龍之介)                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成が複雑な文章を読んで、全体の内容構成、論理の流れがわかる。主張や要点及びそれを支持／説明する箇所とその内容を示し、文章の整合性が判別できる。</li> <li>● 文章のタイプに特徴的な文章構成や流れがわかり、母語と異なる場合でも、それらを活用して的確に読める。</li> </ul>     |
| 超級  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般向けの、抽象度の高い文章を読んで、相対的な視点から論旨や主張が把握できる。</li> <li>● 小説や記事、専門性の高い文章を読んで、含意されたメッセージを含め、批判的に解釈できる。</li> </ul> | 文化摩擦／国家権力とは何か／近代合理主義の光と影／『バン屋襲撃』(村上春樹)／『変な音』(夏目漱石)     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成が複雑な文章を読んで、全体の内容構成、論理の流れがわかる。主張や要点及びそれを支持／説明する箇所とその内容を示し、論理の整合性、明晰さが判別できる。</li> <li>● 文章のタイプに特徴的な文章構成や流れがわかり、母語と異なる場合でも、それらを活用して的確に読める。</li> </ul> |

## 全レベル共通目標

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報把握</li> <li>2 談話構成</li> <li>3 既有知識の活用</li> <li>4 自律的な読み</li> <li>5 課題・活動の遂行</li> <li>6 態度(意欲)</li> </ol> | <p>目的に合わせて読み、文章中の必要な情報を得ることができる。</p> <p>文章全体の流れを理解し、各段落など、文章の構成部分の位置づけがわかる。</p> <p>文章を読んで、その中に示されている情報や考え方を既有知識と結びつけることができる。</p> <p>文章をどの程度理解したかを自ら判断し、必要な行為(例 辞書使用／不使用)を選択、実行できる。</p> <p>理解した内容に関する課題や活動について、その目的を理解し、遂行することができる。</p> <p>文章を積極的に読み、意味の把握に意欲的に取り組むことができる。</p> |
|---|---|

# 聴解 抜粋版 (リスト全体はWebにて公開)

|     | Can-do目標  | テーマ・トピック例                     | Can-do目標細目例<br>言語(結束性)  |
|-----|---|-------------------------------|---|
| 初級1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ゆっくりはっきりと話されれば、時間や曜日、出身や専門などごく身近なトピックに関する短い話が理解できる。</li> <li>● ゆっくりはっきりと話されれば、宿題や教室活動に関する簡単な指示や説明が理解できる。</li> </ul>                        | 自己紹介／私の一日／私の家族                | 「そして」「それから」などの接続表現を手がかりにして、出来事の順序がわかる。                            |
| 初級2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● はっきりと話されれば、大学生活や日本の習慣など身近な生活場面に関する話が理解できる。</li> <li>● はっきりと話されれば、授業や学校行事など大学生活に関する簡単な指示や説明が理解できる。</li> </ul>                               | 授業の取り方／日本の結婚式／スピーチコンテストのお知らせ  | 「それで」「だから」「～から」「～ために」などの接続表現を手がかりにして、理由や目的がわかる。                   |
| 中級1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常的な表現を使って話されれば、日本文化の特徴や社会問題など身近な社会・文化的なトピックに関する話が理解できる。</li> <li>● 日常的な表現を使って話されれば、語の省略が多少あっても、大学生活や社会生活に必要な指示や説明が理解できる。</li> </ul>       | 日本の地方都市／プラスチックごみ／信号の話         | 「まず」「次に」「最後に」などの接続表現を手がかりにして、物事の順序や手順がわかる。                        |
| 中級2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成や展開がはっきり示されれば、日本の文化や歴史など社会・文化的なトピックに関する一般教養的な話が理解できる。</li> <li>● 話が具体的に展開が予測しやすい場面であれば、語の省略や倒置があっても、大学生活や社会生活に必要な指示や説明が理解できる。</li> </ul> | 東京の温泉／隠れキリシタン／冷凍の技術           | 「その結果」「そのため」「そこで」などの接続表現を手がかりにして、物事の因果関係がわかる。                     |
| 中上級 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成や展開がはっきり示されれば、社会問題や環境問題など時事的なトピックに関する話が理解できる。</li> <li>● 話が具体的に展開が予測しやすい場面であれば、多少婉曲的な表現であっても、相手の意図が理解できる。</li> </ul>                     | 人間が長生きする理由／日本人と掃除／ものづくりと熟練の技術 | 「ところが」「それに対して」「すると」などの接続表現を手がかりにして、話の展開と帰結がわかる。                   |
| 上級1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成や展開が予測しやすい内容であれば、政治・経済や国際関係など時事的、やや専門的なトピックに関する話が理解できる。</li> <li>● 話が具体的に展開が予測しやすい場面であれば、婉曲的な表現や比喩的な表現であっても、相手の意図が理解できる。</li> </ul>      | 開発途上国支援／南極／あいづち               | 「したがって」「その一方で」などの接続表現や「～が」「～けど」などの前置き表現を手がかりにして、物事の論理関係や話の帰結がわかる。 |
| 上級2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 明瞭に話されれば、ニュースや、やや専門的な講義が理解できる。</li> <li>● 明瞭に話されれば、事柄の関係性や展開がわかりにくい話であっても、相手の主張や意図が理解できる。</li> </ul>                                       | バイオミクリ／人はなぜ化粧をするのか／江戸の数学      | 多様な接続表現や前置き表現を手がかりにして、物事の複雑な論理関係や話の帰結がわかる。                        |
| 超級  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 多少不明瞭な発音であっても、報道番組や専門的な講義が細部まで理解できる。</li> <li>● 事柄の関係性や展開がわかりにくい話であっても、相手の主張や意図を微妙な言葉のニュアンスまで汲み取って理解できる。</li> </ul>                        | 学部の概論・専門科目の講義／TVの報道番組・対談番組    | 多様な接続表現や前置き表現を手がかりにして、物事の複雑な論理関係や話の帰結が容易にわかる。                     |

## 全レベル共通目標

- |             |   |
|-------------|---|
| ① 大意把握      | 未知語や聞き取れない表現などにとらわれずに、話の主題や要点、大意が理解できる。           |
| ② 情報の取捨選択   | 重要な情報とそうではない情報を聞き分けて、適切な情報の取捨選択ができる。              |
| ③ キーワード把握   | 話のキーワードが的確に聞き取れる。                                 |
| ④ 既有知識の活用   | 既有の知識を活用して、話の内容や展開を予測しながら聞ける。                     |
| ⑤ 談話展開指標の活用 | 接続表現や前置き、注釈表現など、談話展開の指標となる表現を手がかりに、話の内容や構成が理解できる。 |
| ⑥ 非言語情報の活用  | ジェスチャーや表情などの非言語情報を手がかりに、話の内容や話し手の意図が理解できる。        |
| ⑦ 理解の表出     | 聞き取った内容の再生や要約ができる。                                |
| ⑧ 意見の表明     | 聞き取った内容について、自分の意見や感想が述べられる。                       |
| ⑨ 態度(意欲)    | 途中で投げ出さずに、最後まで集中して聞ける。                            |

# 文章表現 抜粋版

(リスト全体は AJ Can-doリスト で検索してください)

|     | Can-do目標  | テーマ・トピック例                             | Can-do目標細目例<br>言語(談話構成)                  |
|-----|---|---------------------------------------|--|
| 初級1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活やごく身近なことについて、200字から400字程度の短い文章を書くことができる。</li> </ul>  | 自己紹介／私の部屋／毎日の生活／休みの日にしたこと／私の友だち       | 日常生活や身の回りのことについて、3文以上で書ける。               |
| 初級2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近なことや自国のことについて、構成を考えて400字から600字程度の簡単な説明文を書くことができる。</li> <li>自分の経験について、感想・意見を加えて書くことができる。</li> </ul>         | 日本で行ったところ／休みの計画／日本でびっくりしたこと／私の紹介したい町  | 身近なことについて、導入・本文・まとめの構成で書ける。              |
| 中級1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分がよく知っている社会・文化的なことについて、わかりやすい文章構成で説明文を書くことができる。</li> <li>賛成か反対か理由を示して、意見文を書くことができる。(400字～800字程度)</li> </ul> | 国の有名人／自国の文化との相違／自国の料理紹介／日本で感じたこと      | 身近な話題に加えて、抽象的な話題についても、導入・本文・まとめの構成で書ける。  |
| 中級2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会・文化的なことについて、決められた型にそってレポートを書くことができる。</li> <li>適切な語彙や文体を選択して、小論文を書くことができる。(600字～800字程度)</li> </ul>          | 国の特別なもの／地域の名所／教育の問題／高齢化社会             | モデルに倣って簡単な小論文やレポートの内容を組み立てることができる。       |
| 中上級 | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的・時事的なことについて、根拠に基づいた小論文またはレポートを書くことができる。(800字～1500字程度)</li> </ul>  | インターネット社会／ごみの問題／男女がともに働ける社会／社内の英語公用語化 | 各段落をバランスのとれた配分で論理的につなげることができる。           |
| 上級1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>時事的、やや専門的なことについて、多様な表現を適切に用い、全体としてバランスのとれた配列で、説得力のあるレポートを書くことができる。</li> </ul>                                | 課題ごとの指定テーマまたは学生による自由選択(日本や自国の社会問題など)  | 適切なテーマを選択し、各段落を論理的かつ説得力のある配列でつなげることができる。 |
| 上級2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>時事的・専門的なことについて、効果的な表現で、多角的な観点からの分析に基づいた考察を含むレポートまたは論文を書くことができる。</li> </ul>                                   | 課題ごとの指定テーマまたは学生による自由選択(学生の専門に関連するテーマ) | テーマを絞り、提起した問題に対し、結論を導き出すことができる。          |
| 超級  | <ul style="list-style-type: none"> <li>時事的・専門的なことについて、独創性のある論文を書くことができる。</li> </ul>   | 課題ごとの指定テーマまたは学生による自由選択(学生の専門に関連するテーマ) | テーマを掘り下げ、提起した問題に対し、説得力のある結論を導き出すことができる。  |

## 全レベル共通目標

- ① 伝達性 自分の伝えたい内容を読み手に伝わるように書くことができる。
- ② 談話構成 文章をわかりやすく組み立てることができる。
- ③ 既有知識の活用 既有の知識、学習済みの文字・語彙・文型等を積極的に運用して書くことができる。
- ④ 条件・制約の把握 与えられた課題や文字数等の条件に応じて、内容の取捨選択ができる。
- ⑤ 倫理的配慮 インターネット上の文章等を剽窃することなく、自分の力で書き上げることができる。
- ⑥ 態度(意欲) 読み手を意識しながら、意欲をもって書き上げることができる。

# 口頭表現 抜粋版 (リスト全体はWebにて公開)

## ● 独話

### Can-do目標

### テーマ・トピック例

|     |  |                                 |
|-----|--|---------------------------------|
| 初級1 | ●自分の出身や専門、趣味など、ごく身近なことについて、簡単に話せる。                         | 自己紹介／毎日の生活／私の国の紹介／私の好きな○○       |
| 初級2 | ●自分の経験や感想など、身近なことについて、1～2分程度の簡単な発表ができる。                    | 日本でびっくりしたこと／学校生活／休みの計画／私の国の習慣   |
| 中級1 | ●身近なことについて、わかりやすい構成で、3分程度の発表ができる。                          | 将来の希望／料理の紹介／自国の文化紹介／日本で感じたこと    |
| 中級2 | ●やや社会・文化的なことについて、決められた型に倣って、5分程度の発表ができる。                   | 街で見つけた面白いもの／地域の名所の紹介            |
| 中上級 | ●社会・文化的なことについて、7分程度の発表ができる。                                | 自国のニュース／人口問題／環境問題               |
| 上級1 | ●時事的、やや専門的なことについて、論理的にまとめて、発表できる。                          | 自国と日本の社会制度／文化／習慣などに関する比較対照／私の提言 |
| 上級2 | ●時事的・専門的なことについて、研究発表や調査発表ができる。<br>●聞き手に配慮しながら、説明・論述できる。    | 学生の専門に関連するテーマ                   |
| 超級  | ●時事的・専門的なことについて、研究発表や調査発表ができる。<br>●聞き手や場面に応じて、流暢に説明・論述できる。 | 学生の専門に関連するテーマ                   |

## ● 対話

### Can-do目標

### テーマ・トピック例

|     |   |   |
|-----|---|---|
| 初級1 | ●基本的な挨拶ができる。<br>●易しい語や表現を使って、簡単な質問をしたり、答えたりできる。   | 挨拶／買い物／注文                               |
| 初級2 | ●簡単な依頼や要求をするなど、生活に最低限必要なやりとりができる。<br>●日常生活でよく使う語や表現を使って、簡単なやりとりができる。                              | 道聞き／病院での会話／旅行の予約                        |
| 中級1 | ●身近なことについて、簡単な語や表現を使って、意見を述べたり、質疑応答ができる。<br>●興味・関心のあるトピックについて、相づちや聞き返しなどを使って、短い会話が続けられる。          | 学校生活の会話／日本での経験／自国の食文化や習慣との比較            |
| 中級2 | ●やや社会・文化的なことについて、質問内容を事前に準備して、簡単なインタビューやディスカッションができる。●日常的な場面で、相手に応じて適切な語や表現を使って、会話ができる。           | 私のキャリアプラン／自然と人間の関わり／相手を知るためのインタビュー      |
| 中上級 | ●社会・文化的なことについて、質問内容を事前に準備して、インタビューやディスカッションができる。●依頼・詫言・詫言・約束をするなど、適切な語や表現を使って、会話ができる。             | 日本の不思議な習慣／自国の社会問題／依頼・詫言・詫言・約束などのロールプレイ  |
| 上級1 | ●時事的、やや専門的なことについて、事前に準備して、インタビューやディスカッションができる。<br>●相手に応じて、交渉を含めた依頼・詫言・約束をするなど、適切な語や表現を使って、会話ができる。 | 社会・文化・習慣(同性婚・原発など)の是非／交渉を含めた依頼などのロールプレイ |
| 上級2 | ●時事的、やや専門的なことについて、根拠のある意見を述べながら、ディスカッションやディベートができる。●どんな場面や相手でも、適切な表現を使って、流暢に会話が続けられる。             | 社会制度／文化／習慣(死刑制度・人工中絶・メディアリテラシーなど)の是非    |
| 超級  | ●時事的・専門的なことについて、根拠のある意見を述べながら、ディスカッションやディベートができる。●どんな場面や相手でも、洗練された表現を使って、流暢に会話が続けられる。             | 学生の専門に関連するテーマによるディスカッション                |

### 全レベル共通目標

- |                |                                  |
|----------------|----------------------------------|
| ① 伝達性          | 自分の伝えたい内容を聞き手にわかるように伝えることができる。   |
| ② 談話構成         | わかりやすくまとまった話ができる。                |
| ③ 談話調整         | 相手に応じて会話を続けることができる。              |
| ④ 円滑なコミュニケーション | 場面・相手との関係に応じて、待遇表現等を適切に使うことができる。 |
| ⑤ 既有知識の活用      | 既有知識、学習済みの語彙・文法・表現を積極的に運用して話せる。  |
| ⑥ 態度(意欲)       | 円滑なコミュニケーションを目指して会話を続けることができる。   |

# 留学生日本語教育センター 作成教材

JLC開発教材 <http://www.tufs.ac.jp/common/jlc/kyoten/development/e-learning.html>

## 協働学習型総合日本語教材

交換留学生、日本語・日本文化研修生、研究生などを対象とし、アカデミック日本語を養成する教材。充実したタスクやグループワークにより日本語で伝え合う力を獲得することを目指す。



## 技能別アカデミック教材

日本語による大学講義の聴解を目指した教材。中級レベルからモノローグを聞く練習を行うほか、講義を聞いてまとめる力を養成。



## 初級から上級までの集中日本語教育向け教材

日本の大学進学を目的とした集中予備教育や海外の大学の日本語主専攻向けの教材。初級から上級まで体系的に日本語が学べる。



## 日本語eラーニング教材JPLANG

<http://jplang.tufs.ac.jp>

左記の教材に準拠したeラーニング教材で、初級、中級レベルの文法・語彙・読解・聴解・口頭表現が総合的に学べる。スマートフォン・タブレット端末に対応。初級教材は12言語による解説が付いている。

